

2学年 学年だよ

うみのなかま  
海学年

～成長の記録・第2章～

発足 517 日目（卒業まで、あと 553 日）

調子に乗るな、波に乗れ！

（ウェイヴィ、座右の銘）

第 61 号 2023.9.4

文責 佐藤敏之



～hugくみ～

うみのなかま  
海学年

学年目標

響音

～波紋のようによい行いを広げよう～

## 心響かせる歌を

右にあるのは、2年生の学年合唱「HEIWAの鐘」の歌詞です。この合唱を初めて聴いたのは、私がまだ教師になりたての頃で、その年の2年生の学年合唱で歌われていたその歌の清々しく前向きな雰囲気と歌詞に込められた願いの強さに深い感銘を受けたことを今でも覚えています。

作詞・作曲を手がけた仲里幸広氏はこの歌について語った記事の中で次のような言葉を記しています。

「ベートーヴェンが愛した言葉に『心から出ず。願わくは心に至らんことを』とある。音楽に国境はない。ダイレクトに『心から心へ』飛びこんでいく。ひとつのメロディーに宇宙のリズムを宿らせ『平和への願い』の弦をかき鳴らしていく。」

（浦添市地域総合ポータルサイト「うらそえ」より）

もともと、この歌が作られた背景には、作者の故郷である沖縄で米兵による少女暴行という事件が起きたことに怒りや悲しみを感じたことがきっかけなのだそうです。そんな中で作者は、自身の中にある「怒り」や「悲しみ」を歌にするのではなく、前向きな平和への願いを歌にすることによって状況を変えるための一つのきっかけになってくれたらと願ったのです。歌詞の中にある

「フェンスを飛び越えて」という言葉は、米軍基地の周囲に張り巡らされたフェンスのことを指しているのだそうです。まさに「音楽に国境はない。ダイレクトに『心から心へ』」という強い思いが、この歌には込められているのです。海学年の生徒たちにも、そんな「平和への願い」を感じながら、国境とは言わずとも、様々な心の距離や壁を越えて先輩や後輩、教員や保護者の皆さま、そして共に歌う海学年の仲間といった多くの人の心を、さらには自分自身の心をも響かせるような歌を、今から24日後、9月28日（木）のハーモニーホールで堂々と歌い上げてほしいです。

### 『 HEIWA の鐘 』

よみがえれ あの時代へ  
武器を持たぬことを伝えた  
先人たちの声を 永遠に語り継ぐのさ  
脅かすことでしか 守ることができないと  
くり返す戦争 忘れてゆく  
愚かな権力よ  
いつか（自由な空が）  
虹かかる（翼ひろげゆく）  
風に（高く大きな）  
幸せ贈るだろう  
ぼくらの生まれた この地球に  
奇跡を起こしてみないか  
拳を広げて つなぎゆく  
心はひとつになれるさ  
平和の鐘は 君の胸に響くよ

唄い踊り助け合った  
振り向かず笑い続けた  
誇る島の魂を 永遠に守り抜くのさ  
銃声が鳴り響き 海や大地が砕け散る  
正義の叫び こだまする  
フェンスを飛び越えて  
君が（一人立てば）  
変わるのさ（明日へ輝いて）  
ずっと（未来の夢を）  
ここに残してゆこう  
ぼくらの生まれた この地球に  
奇跡を起こしてみないか  
拳を広げて つなぎゆく  
心はひとつになれるさ  
平和の鐘は 君の胸に響くよ  
平和の鐘は 君の胸に響くよ

（裏面に記載あり）

## 文化祭特別日課について

下の「今後の予定」の欄に、「文化祭特別日課開始」という表記があります。これは、文化祭に向けて本格的に取り組んでいく中、通常50分間の授業を45分間として、その分、帰り学活を15分多くしながらクラスごとに合唱練習を重ねていくための文化祭に向けたまさに特別な日課となります。

6校時を使って海学年全体で創り上げていく学年合唱と並行して、クラスごとに切磋琢磨しながら、合唱に対する意識の差や考え方・感じ方の違いを、この15分間の積み重ねによって少しずつ重ね合わせ、高め合っていき、それぞれのクラス合唱を創り上げていきます。

文化祭（合唱の部）当日、保護者の皆さまにハーモニーホールでお聴きいただくそれぞれの合唱には、こういった努力の過程があるのだということを知っておいていただけると幸いです。

## 集金について

来週の9月14日（木）が2学期最初の集金日となっています。そのため、今週金曜日に集金袋を配付いたします。来週**11日(月)~14日(木)**の4日間、朝の登校時に職員室前に置かれた学年ごとの集金箱（2年生は青色のテープが貼られています）に、自分のクラスの穴の位置を確認した上で集金袋を投函するようお願いいたします。集金箱のおおよその設置時間は「朝の昇降口開錠から1時間目開始前まで」となっていますが、金額が大きく紛失等があってはほしくないのので、必ず登校後すぐに職員室前に立ち寄り、集金袋の投函を済ませてから部活動の朝練習や教室に向かうようにしてください。1学期、朝の学活後に投函している生徒の姿を多く目にしましたが、朝学活の段階でまだ生徒の手元に集金袋があるということになるべくないよう、ご家庭でのお声かけをよろしくお願いたします。

## あとがき

夏休みが明けて学校生活を再開させた海学年の生徒たちの表情は比較的穏やかなものを感じました。もちろん、まだまだ本調子でなかったり、浮かない表情をしていたりする生徒もいるのも現実で、気になる部分がないわけではありませんが、それでもこうやって海学年の時間が再びゆったりと動き出したことについては、喜びを感じています。まだまだ暑い日が続いていきますので、生徒たちの心身の様子にしっかりと目を配りながら共に前へと進んでいきたいと思ひます。

## 今後の予定

(今 週)

日	曜	行事等
4	月	1学年朝会 教育実習開始 諸活動停止 帰学活+10分(合唱練習等の確認)
5	火	45分授業 帰学活+15分 文化祭特別日課開始
6	水	45分授業 ⑥合唱パート練習 帰学活+15分
7	木	45分授業 ⑥合唱入退場練習 帰学活+15分
8	金	45分授業 帰学活+15分 集金袋配付

(来 週)

日	曜	行事等
11	月	45分授業 3学年朝会 諸活動停止
12	火	45分授業 ⑥展示鑑賞 帰学活+15分
13	水	学習診断テスト ⑥クラス合唱リハーサル 帰学活+15分
14	木	集金日 45分授業 清掃カット 帰学活+15分 拡大評議会
15	金	45分授業 ⑥合唱パート練習 清掃あり 帰学活+15分 教育実習終了

※「諸活動停止」は放課後の活動がすべて無しで帰り学活後に全員下校することを示します。

※月間を通しての行事予定は、毎月学年で発行している「行事予定」にてご確認いただけます。